

骨子表（2021 版） 令和 3 年度 建設部門 I 問題用 （I-2）

問題	問題分析	解決の方向性	実現上のハードル	リスク対応の具体策
現状の分析、あるべき状態との差異	問題の発生原因 多面的に内容と共に示す	解決の方向性、すべきこと 1 つ挙げ複数の解決策を述べる	具体化した際に起こる別の問題（2 次リスク）とその対策 ※共通して新たに生じるリスク	課題解決とリスク対応を遂行するにあたり、倫理、持続性からの要件・留意点
過去の災害対策による防災ストックの蓄積と整備効果の発現 災害の激甚化、頻発化 地球温暖化 気象現象の極端化 防災ストック効果の低下 設計想定を超える現象の発生	1.施設整備への依存、過度な信頼、油断と危機意識の喪失 2.浸水リスクが高い地域への人口・資産の集中 3.不適格施設が存在 河川の狭窄部、屈曲部 ボトルネックとなる占用物件（クリアランスが不足する橋梁、阻害率の大きい橋梁など）	1.ハード依存からの脱却 2.都市機能の分散 3.不適格施設の改修 <u>最も重要な課題</u> 2.都市機能の分散 1)都市重要機能の地方移転 ・web 会議やクラウドの活用 2)地方都市の外延化抑制 ・コンパクト化 ・無秩序な外延の防止 ・危険区域居住地化の防止 3)二地域居住、テレワーク推進 4)土地利用規制の強化 ・レッドエリア居住の禁止 ・構造規制の実施 ・リスク情報の開示	1.インフラ維持効率の低下 2.ICT 基盤などの新たなインフラ整備が必要	1.公益確保の観点 ・災害危険度のわかりやすい公表 ・ハード対策後に残るリスク情報の提供 2.社会持続性の観点 ・LCC、人口動態の考慮 ・インフラ施設整備での初期品質の向上 ・KPI 化(目標の数値化)と PDCA の実施

※風水害被害の防止軽減のための課題等